

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 29 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内各工場のプロワーをインバータ化して、電力使用量を削減した。 ・ 所内各工場のコンプレッサーの台数制御を行い、電力使用量を削減した。 ・ 所内工場の操業形態を見直すことで、重油使用量を削減した。 					
温室効果ガスの吸収等	区 分	実施年度 (平成 29 年度)				二酸化炭素換算 (t)	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等				t-CO ₂	
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用				t-CO ₂	
		グリーン電力証書の購入				t-CO ₂	
		グリーン熱証書の購入				t-CO ₂	
		オフセット・クレジットの購入				t-CO ₂	
		国内クレジットの購入				t-CO ₂	
		J-クレジットの購入				t-CO ₂	
	合 計				① t-CO ₂		
	温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (平成 28 年度)	目標年度 (平成 31 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 29 年度)	対基準 年度比 (%)
温室効果ガス 排出量		(二酸化炭素換算 (t))② 342,402 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 335,000 t-CO ₂	97.8	(二酸化炭素換算 (t))③ 343,239 t-CO ₂	100.2	
<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A		(二酸化炭素換算 (t))② 342,402 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 335,000 t-CO ₂	97.8	(二酸化炭素換算 (t))③-① 343,239 t-CO ₂	100.2	
<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B							
温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B							
排出量等の 増減理由	29年度の増減幅の大きい項目としては、電力の使用量が下がったものの、石炭の使用量が増加したために、総排出量が若干増加した。						
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林保全活動として、社有地において1.0haの植栽を実施した。 ・ 所内の建屋に緑のカーテンを敷設した。 						

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。